

1994年11月12日 創刊
2011年12月13日 発行

●発行者 須商東京同窓会 代表 蜂谷 雅人
●編集責任者 事務局長 中山 勉
●郵便振込口座 00120-6-726189

2011年須商東京同窓会開催

2011年11月5日(土) 田町ハイレーンに須商健児45名が参集。
来賓として母校同窓会の荒井会長をはじめ、霜田副会長・西澤副会長、
母校の佐久間教頭先生にもご臨席いただき賑やかな楽しい会になりました。

第1部

ボウリング大会

ゲーム参加者は17名。皆さん一投一投懸命にボールを投げ、おおいに楽しんでいました。

ウォーキング会

毎度のナビゲーター高相博澄さん(S37卒)とともに、浜離宮恩賜庭園を見学。参加者12名の方がさわやかな秋のひとときを過ごしました。



万歳三唱！！

第2部

総会

蜂谷雅人代表(S38卒)の挨拶に次いで母校の佐久間教頭先生からご挨拶をいただき、母校の様子をうかがい知ることができました。

議事では、経過報告および会計報告が行われ、また役員改選案が提示され、すべて承認されました。なお、役員改選の主な点は事務局長の改選で、小田彰さん(S40卒)から中山勉さん(S39卒)に変更されたことです。

総会の末尾には、母校同窓会霜田副会長から母校の近況報告として故郷須坂のPRを含めてお話いただきました。



2012年度の総会は11月3日(土)です。ぜひご出席ください。

第3部

公演会

東京同窓会のお抱え?の語りべと噺家の登場です。有賀信子さん(S40卒)は、「大奥 絵島騒動」をとてもいい調子で語ってくれました。

また、凡从亭志ん功(ほんじゅうていしんこう)こと清水勲さん(S41卒)は、小話と古典落語で笑わせてくれました。



語り 有賀さん

第4部

懇親会

母校同窓会荒井会長からご挨拶をいただき、いよいよ佳境。中華料理と故郷から取り寄せた「おやき」をほおばりながら、旧友・先輩・後輩と話が弾みました。恒例となった「お久しぶりスピーチ」では、本井春二さん(S36卒)をはじめ、十十木哲夫さん(S39卒)・森山貞幸さん(S40卒)・・・からお話いただきました。

宴たけなわ、金井年男さん(S47卒)の進行で、ボウリング大会の表彰そして、スターツ(株)(村石久二さん・S38卒)からいただいた商品券「ラッキー賞」と蜂谷農園(蜂谷代表・S38卒)からの「筍お楽しみ券」争奪戦!各テーブルごとにジャンケンポンと会場はおおいに盛り上がりました。

次いで♪カラオケタイム、次から次へと美声が響き渡り熱唱が続きました。

楽しい会もいよいよ締めです。中澤功夫さん(S40卒・応援団長)の指揮で校歌を声高らかに。次いで信濃の国を合唱。

そして、兵藤武さん(S29卒)ほかの皆さんの音頭で万歳三唱。



落語 清水さん

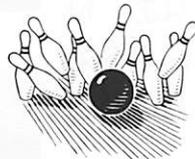


ジャンケンポン～!

第18回ボウリング大会

今回のヒーローは、次期事務局長の中山さんでした。

第2位と第3位は同スコアでしたが、年齢で順位が決まりました。



- | | |
|------------|-------|
| 優勝 | 325ピン |
| 中山 勉(S39卒) | |
| 第2位 | 291ピン |
| 盛田 登(S38卒) | |
| 第3位 | 291ピン |
| 小田 彰(S40卒) | |



須商東京同窓会だより



熱唱！

うんめ～
おやき

大帝天武の～

まあ一杯

ラッキー賞獲得

第5回浜離宮恩賜庭園ウォーキング



前列左より 蜂谷・横谷・藤沢・十十木
後列左より 霜田・小林・小淵・疋田・浅岡
小山・中澤・高相

5回目のウォーキングは特別名勝及び特別史蹟の徳川將軍家ゆかりの庭園。参加者は飛び入りの本部副会長の霜田さんを含め12名でハイレーンを出発して、ゆりかもめの芝浦ふ頭駅～汐留駅から、浜離宮恩賜庭園を散策するコース。天気は薄曇りで風はなく暖かで、絶好のウォーキング日和。

庭園の入口の大手門に観光バスが3台とまっております見学者は多い。大手門管理所でUS（見どころを音や映像で自動的に解説する端末）・コースマップを受け取り、「庭園一周コース」を選択してスタート。

入口から左手すぐの太い枝が張り出した「三百年の松」で集合写真を撮り、コースマップに沿って進む。鴨場の一つの「新銭座鴨場」には鴨が群れている。潮入り池の中心に「中島の御茶屋」があり、のどかな風景が満喫できる。ここで二枚目の集合写真を撮る。池には小魚が見られたが、ボラ・セイゴ・ハゼ・ウナギ等もいるという。「富士見山」で潮入り庭園を見渡す。広い庭園の回りの高層ビル群が迫っている。

「塩浜跡」付近の池には芝生に植えられた松と、その後ろの森が湖面に映り、豊かな風情を留めている。「將軍御上がり場」は大政奉還直後15代將軍慶喜が大阪より戻った場所。その後、水上バスの船を見ながら大手門に戻ってきた。

都会のオアシスとなっている浜離宮、春は菜の花、ボタン園、秋はコスモスと四季それぞれ楽しめるという。おにぎりを持ってゆっくり散策したい公園の一つです。(6,510歩 3.9Km) 高相記

須商の絆



須商東京同窓会

代表 蜂谷 雅人

(昭和三十八年卒)

本日は須商東京同窓会にご出席下さいまして、有難うございます。第一部はボーリング大会と浜離宮恩賜庭園散策の二グループに分かれ、其々楽しまれたと思います。

私は散策組に参加し、日本庭園の素晴らしさに触れてきました。静寂の鏡のような池畔に、汐留高層ビル群と古い松が美しく映る姿に感銘を受けました。

それに比べ、今回の東日本大震災は言いようのない絶望感や怒りが無数にあり、混乱も見られましたが、むしろ目立ったのは人々の助け合いでした。あれほどの巨大で破滅的な地震や津波を受け止める、日本人の精神がみられました。自然とは決して戦う相手では無く、あの恐るべき災難

をもたらした大自然はまだ、大きな恵みを与えてくれます。それに対して、人々は祈りをささげ、感謝する心が日本人の精神性のもっとも奥底にはあったのです。

死者一万六千人・行方不明三千七百人、およそ二万人の命が奪われたことになりました。又、避難者七万人にも及び、今でも不慣れた生活を送っています。震災後「絆」という言葉が再三使われるようになりました。

辛いとき寂しい時は温もりが欲しいものです。東京同窓会も「故郷の絆」「須商の絆」で繋がっています。

これからも会員の皆様と長く須商同窓会が継続できるように絆をより深めて参りたいと思います。これからも皆さんのご協力を宜しく願います。

東京同窓会日程

第1部

第18回ボウリング大会【ゲーム開始 13時40分】

(17名参加)

第5回ウォーキング会【スタート 13時10分】

(12名参加) 【ナビゲーター 高相 博澄 (S37卒)】

第2部 総会

【開 会 15時30分】

【議 長 小林 直治 (S40卒)】

1. 開会の辞……………事務局 小山 俊久 (S41卒)
2. 東京同窓会代表挨拶……………代 表 蜂谷 雅人 (S38卒)
3. 来賓ご紹介・ご挨拶……………教 頭 佐久間 茂 先生
4. 議事

(1)経過報告 (2010年11月から2011年10月まで)

事務局長 小田 彰 (S40卒)

(2)決算報告・監査報告 (2010年4月から2011年3月まで)

会 計 佐藤今朝雄 (S42卒)

監 査 齊藤 裕三 (S32卒)

(3)役員(別紙参照)の承認……………事務局 小田 彰 (S40卒)

5. 母校近況報告……………母校同窓会副会長 霜田 剛 (S42卒)

第3部 公演会【16時30分～17時20分】

◆「大奥 絵島騒動」……………語 り 有賀 信子 (S40卒)

◆落語 凡从亭 志ん功……………噺 家 清水 勲 (S41卒)

第4部 懇親会【17時20分～19時00分】

【司 会 金井 年男 (S47卒)】

1. 来賓ご挨拶……………母校同窓会会長 荒井 清治 (S38卒)
2. 乾杯……………副 代 表 中山 勉 (S39卒)
3. お久しぶり(1分間)スピーチ
4. ボウリング表彰……………プレゼンター 中島 貞子 (S43卒)
5. ジャンケン大会(抽選会)……………プレゼンター 中島 貞子 (S43卒)
6. カラオケタイム ♪♪♪ まずは全員で "ふるさと" ♪♪♪
7. 校歌・信濃の国 合唱
8. 万歳三唱……………佐久間教頭 荒井会長 蜂谷代表 兵藤さん
9. 閉会の辞……………副 代 表 有賀 信子 (S40卒)

2011年度 総会出席者

昭29卒 兵藤 武	昭31卒 浅岡 良夫
昭31卒 小山 文夫	昭31卒 坂口 邦一
昭31卒 浜野 成一	昭31卒 足田 雅博
昭31卒 平尾 雄市	昭31卒 藤沢 三男
昭31卒 丸山 圭三	昭31卒 横谷 亮
昭32卒 齊藤 裕三	昭33卒 石川 和行
昭33卒 泉 英二	昭34卒 田子 重雄
昭36卒 本井 春二	昭37卒 高相 博澄
昭38卒 小林 義昭	昭38卒 蜂谷 雅人
昭38卒 牧 行政	昭38卒 盛田 登
昭38卒 割田 隆	昭38卒 小淵 重雄
昭38卒 樽澤 輝男	昭39卒 十木 哲夫
昭39卒 中山 勉	昭39卒 宮沢 利二
昭40卒 有賀 信子	昭40卒 大峽 賀利
昭40卒 小田 彰	昭40卒 小林 直治
昭40卒 中澤 功夫	昭40卒 尾畑 良子
昭40卒 岩井 和雄	昭40卒 森山 貞幸
昭41卒 北沢 博	昭41卒 清水 勲
昭41卒 小山 俊久	昭42卒 佐藤今朝雄
昭43卒 中島 貞子	昭47卒 金井 年男
事務局 山田 竜也	
昭38卒 荒井 清治 (本部部长)	
昭42卒 霜田 剛 (本部副会长)	
昭39卒 西澤 直樹 (本部副会长)	
教 頭 佐久間 茂	45名

ボウリング・抽選会等の賞品提供

スターツ㈱ 村石 久二 (昭38卒)
蜂谷農園 蜂谷 雅人 (昭38卒)

母校近況



須坂商業高等学校長
山岸重文

東京同窓会の皆様方には、日頃から母校に対して物心両面のご支援ご協力を頂いておりまして、誠に厚く御礼申し上げます。

さて、本年度の入学式は、四月六日(水)に実施され、新入生数は、少子化の影響で昨年度より一学級減じた三学級百二十一名でありました。

五月六月には、部活動の各種大会が催され、運動系クラブでは、男子卓球部は、団体で県大会三位に輝き、北信越高校総体に出場しました。

商業系クラブでは、六月、珠算部が団体準優勝、情報処理部が団体三位となり、西部とも個人で全国大会に出場致しました。くますぎクラブは全国の高校生が作った商品や自分達が開発した商品或いは地元の特産品などの販売を通して、地元須坂の地域産業振興に大いに貢献しています。

秋には恒例の第七十二回須商マーケットは、「喜色満面〜最高の笑顔をお客様に〜」をテーマに掲げ、最高の笑顔をお客様へのおもてなしするよう心掛けました。地元須坂特産の味噌や須坂園芸高校産の味噌をブレンドして使用した新作の「みそラーメン」「かりんとう等」も好評を博しました。

また、十一月六日・七日県高等学校新人体育大会卓球競技会県大会では、男子卓球部が団体準優勝を果たし、北信越大会に出場することが決定致しました。

東京同窓会の皆様方におかれましては、後輩達の活躍をご理解頂くとともに、今後とも変わらぬご支援ご協力をお願い致しまして近況報告とさせていただきます。

再編に向けての本部体制強化



母校同窓会会長
荒井清治(昭和三十八年卒)

平成二十三年年度、東京同窓会総会開催、誠にありがとうございました。

本部総会は、六月十八日(土)に開催し、席上役員改選を行いました。

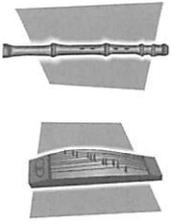
小林(藤沢)侑子さん(昭36卒)、飯島(藤本)喜以子(昭36卒)が退任されました。新任として、村本(山岸)タケイさん(昭37卒)、和田(堀内)安江(昭38卒)、西澤直樹さん(昭39卒)、吉田孝さん(昭48卒)が選任され、男性副会長二名を増員し、計六名体制といたしました。

平成二十七年年度には須坂新校の生徒募集が始まります。再編後の同窓会のあり方、九〇周年余の須商の歴史の総まとめとしての記念誌発行、記念式典などについて早急に検討会を立ち上げたいと考えております。

そのキャップには、霜田剛副会長さんに就任いただきました。

第二部では、記念講演会に代わり昭和四十一年卒業の南澤六三郎様・志づ栄様(外谷志づ栄)御夫妻に登場願ひ、『尺八と琴の演奏』を楽しみました。

東京同窓会からは蜂谷代表においていただき、近況をお話しいただきました。誠に有難うございました。



須商同窓会・大阪発

がんばれ三・十二の栄村

近畿支部事務局長
小嶋啓治(昭和三十六年卒)

総会に先立って「長野県下水内栄村地震被災者支援募金」として出席者が寄付しました。

義援金は、荒井本部長を通じて四月十八日に信濃毎日新聞長野本社へ届けました。「三・十二」の被災地救済に役立つ。そして、栄村「がんばれ」と祈るのみです。

さて、五十七回目の須商同窓会近畿支部総会を四月十七日にラマダホテル・大阪で開催しました。同窓生十七名と余興(銭太鼓演奏・三名)で、十二時〜十五時の三時間にわたり、余興・カラオケ・お楽しみ抽選会等々の盛り沢山の内容でした。

年間行事として、
七月三十一日(日) 納涼ビアガーデン
十一月二〇日(日) ハイキング
十二月 八日(木) 忘年会
親睦会として楽しみに挑戦したいと思います。



(前列左より) 坂田・岡・小嶋
山岸・荒井・小林・市川
(後列左より) 小嶋・村井・立岩
芝花・松沢・西宮・鈴木・羽生田
板倉・原田・江部・岩野・峯村

須商東京同窓会事務局だより

2011年度 経過報告

2011.11.05 須商東京同窓会事務局

1. 登録会員数

- (1) 終身会員 2011.03末現在 225名
 死亡 4名(大久保S28)(羽生田S30)(須田S36)(小林S39)
 復活 1名(市川S28)
- (2) 年会員 2011.03末現在 62名
 継続 1名
 更新 41名
 未更新 20名
 新規会員 3名
 年会員 65名
 (会員合計) 287名

- (3) 首都圏在住者のうち1名が亡くなりました。(西堀健司S37)
2. 同窓会総会の案内状送付後、48名より 155,000円の寄付をいただきました。
3. 成美会誌18号の発刊について(2011年12月13日)を予定しています。
4. 須商HPに成美会誌17号を掲載 インターネット「須坂商業」「同窓会」で検索できます。
 (<http://www.nagano-c.ed.jp/susho-hs/index.html>)

事務局 活動日誌

- 04/26 期別幹事会① ・経過報告/決算報告/23年度活動計画 8名(いずみ)
- 09/06 期別幹事会② ・同窓会総会打ち合せ 8名(いずみ)
- 09/20 総会実行委員会① ・総会案内状発送 8名(いずみ)
 (終身会員:192名 年会員:57名 首都圏在住:37名 その他:1名 合計287名)
- 10/11 総会実行委員会② ・総会内容/公演会等確認 7名(いずみ)
- 10/25 総会実行委員会③ ・出席者/配布資料/総会日程等確認 9名(いずみ)
- 11/05 同窓会総会 ・出席者確認/総会印刷資料確認 45名(田町/ハイレーン)

2011年度 寄付者名簿

11月30日現在
 (敬称略)

昭13卒 堀 哲	昭16卒 黒岩 幸衛
昭17卒 山岸 伍助	昭18卒 小坂 重雄
昭18卒 田中 茂利	昭20卒 西川 正道
昭28卒 木下 啓	昭28卒 藤沢 孝行
昭29卒 兵藤 武	昭31卒 浅岡 良夫
昭31卒 池田 明治	昭31卒 井上ます江
昭31卒 坂口 邦一	昭31卒 浜野 成一
昭31卒 疋田 雅博	昭31卒 藤沢 三男
昭31卒 横谷 亮	昭31卒 中村 拓治
昭32卒 斉藤 裕三	昭33卒 泉 英二
昭34卒 小坂 公男	昭34卒 駒津 勝
昭35卒 市川 勝三	昭36卒 藤沢 崇
昭37卒 佐藤 喜重	昭38卒 小岩井厚夫
昭38卒 蜂谷 雅人	昭38卒 牧 行政
昭38卒 湯本 俊雄	昭39卒 中島 徹雄
昭39卒 中山 勉	昭39卒 西川 正昭
昭39卒 宮沢 利二	昭40卒 有賀 信子
昭40卒 大峽 賀利	昭40卒 小田 彰
昭40卒 小林 直治	昭40卒 滝沢満由美
昭40卒 中澤 功夫	昭40卒 森山 貞幸
昭41卒 江守 二郎	昭41卒 小山 俊久
昭41卒 黒岩 敬子	昭42卒 佐藤今朝雄
昭44卒 稲 準義	昭47卒 金井 年男
昭48卒 田牧 博	昭56卒 中村 幸夫

(48名金額 155,000)

須商東京同窓会平成22年度決算報告書

(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

収入の部	金額	支出の部	金額
前年度繰越金	654,003	期別幹事会費用 (内補助金 27,550)	99,550
期別幹事会費	72,000	事務局会議費用 (内補助金 91,230)	232,230
事務局会議会費	141,000	母校同窓会総会参加費用	17,500
総会会費	296,000	須商東京同窓会総会費用 (内補助金 39,777)	335,777
年会費 (内成美会誌発送後)	63,000 (10,000)	成美会誌 印刷・郵送代等	126,655
寄付金 (内成美会誌発送後)	186,000 (17,000)	その他消耗品等 (インク代・レターパック)	15,668
賛助会費 (内成美会誌発送後)	17,000 (17,000)	香典他(壺井会長ご逝去) (うち香典10,000円)	25,900
ご祝儀(母校・同窓会)	30,000	払込料金・振込手数料 (郵便局・銀行)	12,890
銀行預金利息	137	次年度繰越金	592,970
合計	1,459,140	合計	1,459,140

上記のとおり報告いたします。

平成23年4月11日

代表 蜂谷 雅人

監査報告

平成22年度事業報告および収支計算等、関連諸帳簿、証拠書類等の提示を求め所定の監査を実施した。その財源、使途および当該年度における財政状態を適正に表示し且つ正確であることを認めました。よって、ここに報告します。

平成23年4月11日

監査役 齊藤 裕三

物故者

◆ ご冥福をお祈りいたします ◆

- 昭28年卒 大久保 袈裟雄 (終身会員) 23/07 昭30年卒 羽生田 清市 (終身会員) 22/10
 昭36年卒 須田 孝夫 (終身会員) 20/ 昭39年卒 小林 勝 (終身会員) 22/10
 昭37年卒 西堀 健司 (首都圏在住) 23/09

母校・甲子園初出場を果たして

今年で40年!

金井 年男(昭和四十七年卒)

憧れの甲子園初出場は昭和四十六年八月八日(大会二日目の第二試合)。相手は愛媛県代表、今治西高(甲子園の常連校)です。

当日は晴天に恵まれて、緑の芝生が光輝きとても美しい光景の中、スタンドは満員の観客が、そして三塁側には母校から駆け付けてくれた、大勢の生徒並び諸先輩の皆さんなど、ものすごい応援が聞こえてきたことを覚えていきます。

試合は一回裏に二点先制され、追う展開の中、母校は三回に一点返し、六回にも一点をとり、これで同点、更に七回に一点を加え、逆転に成功しました。

そして三対二で迎えた九回裏の今治西校の攻撃、強打の下馬評があった相手校は強かった。

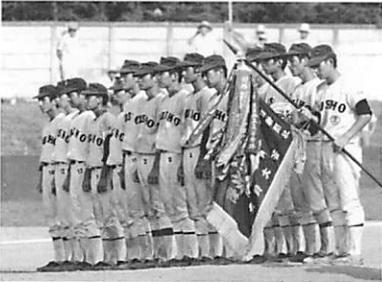
まさかの悪夢のような瞬間だった。一旦はリードしながら、九回裏に逆転サヨナラ負けという結果になり、校歌を聞けなかったことが心残りですが、ここまでよく善戦した試合でした。

甲子園出場を決めるまでの長野大会(地区予選)の試合を振り返ってみると……

当時の信濃毎日

新聞での紹介記事では、前年のチームより「やや小粒」の評価であった。

ここ数年、実力を持ちながら、惜しいところで栄冠を逃している。



試合結果(回)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
須坂商	0	0	1	0	0	1	1	0	0	3
今治西	2	0	0	0	0	0	0	0	2	4

今年のチームは昨年と比べてやや小型になり、爆発的な力は消えた。

しかし豊富な練習量で鍛え抜かれ、今年も優勝を狙えるチーム力を持っている。当時の松野正人監督(故人)のご指導のもと、昭和四十四年には決勝戦で松商学園高に五対六と惜敗、昭和四十五年には準決勝戦で岡谷南高に八対十と惜敗しました。そうした中で昭和四十六年には初めて甲子園の切符をつかんだのです。

大会は伊那市営球場で開催となり、初戦は松本県が丘高を八対三で下し、二回戦では優勝候補の伊那天竜高との対戦を迎えました。

激闘の末、延長十七回二対一で接戦を制した。実質の決勝戦と言っても過言ではない試合でした。そして、ベスト8は岡谷南高に七対一で勝利して、いよいよ準決勝戦は好投手高畑を擁する、岩村田高を四対二と好投手を打ち崩しました。

そして、決勝戦は長野吉田高との対戦となりました。吉田高とは大会前から何回も練習試合をしていた相手だったので、戦い易かった結果、四対一で勝ち、甲子園出場を決めたものであります。

今振り返ると、伊那市営球場に全校生徒や父兄の皆様方や、OBの方々などが応援に駆けつけて頂き、大きな声援が本当に励みになり、みんなで大きな喜びを味わえたことが今でも鮮明に思い浮かびます。

特に、優勝旗を持って千曲川を超え、須坂駅前では、市民の皆様方から「おめでとう」の言葉や「万歳」の合唱などを頂き、皆様方に喜んで頂いたことが今なお、私の大切な財産になっております。

あれから四十年の歳月がすぎましたが、大勢の皆様方に勇気と感動を与えられ、支えられながら、今日があります。

須商野球部がこれからも日々努力して、再度甲子園出場を目指して頑張りたいと、心より願っています。

職場同窓会開催

元三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)には、昭和四十年卒から昭和五十四年卒までの十名の同窓生がいます。

今までは地方勤務の関係等で一堂に会することは、なかなか難しかったのですが、目下メンバー全員的生活圏が東京近郊となり、容易に会うことができるようになりました。そこで新宿の寿司屋さんに参集することになり、十月七日久しぶりに九名が一堂に会しました。

入社時のことや、近況のことやら、故郷のことなどにぎやかに話が弾みました。話とともに酒量が増え、来年の再会を約束して散会しました。

(小林直治記)



左手前から：竹前今朝善・渡辺寛志・山口松男・太田好美
本藤孝男
右手前から：森山貞幸・小林直治・丸山昭典・佐藤今朝雄

中秋の名月と富士山

丸山 圭三 (昭和31年卒)

私が富士山に初めて登ったのは昭和32年8月、職場の同僚とでした。朝一番に新宿を出発夕方には戻るといふ、若さにモノを言わせたスケジュールでした。富士吉田口に着くや、直ぐの出発・・・唯登ることに専念・・・途中の様子など、あまり印象に無かった。

しかし、帰りのコースを須走口にとった時のことです。5合目から6合目にかけて、米軍機が落ちていたのです。早速コックピットに乗ってみたが中身の計器類は全て無くなっていました。

その後、転職・転勤族となり、北は大雪・南は屋久島と各地の山に挑戦してきました。平成6年に大阪勤務を最後にリタイヤして埼玉に、その9月御殿場でゴルフ会があり、その足で富士山御殿場口へ行ったのが事の始まり、5合目の大石茶屋で話し込み・空は微風快晴・月は真ん丸、月明かりで登れる事を確信・何時も車には登山用具は揃っている、よし決行!!となりました。

出発は夜8時前だったと思うが、山も閉山しており、人影は無く空は満点の星・下界は町の明かりが・・・時折薄雲が町の明かりを消して行く・・・実にロマンチック気分でした。

時折ドン・ドーンと大砲の音、またパン・パンと機関銃の音が耳に入り、雰囲気壊していました。各合目の山小屋は閉じていますが8合目だけは緊急に備えて、無人であるが休める様に成っています。ここで一服、午前0時出発・・・山頂剣が峰には午前3時過ぎだったと思います。そこで想定外の出来事。喉の渇きに水をと水筒を開けたところ、シャーベットになっていました。

富士山観測所の人々が熱いココアを持って迎えてくれ、そこで物凄い出会いがある事を教えてくれました。それは富士山が朝日に当たり裏側の雲海に影富士が出来、その影富士の山頂に中秋の名月がある。これは何年かに一度の割合で訪れますが幸運にも、今日がその日でした。この写真は私にとって一番の思い出であり、宝物です。

その後、平成16年まで挑戦しましたが・台風・雨・雪・曇りなどで3回しか登れませんでした。今度はダイヤモンド富士・・・南アルプスの聖岳からポイントだと言う事です。挑戦!????



須商16回 (昭39卒) 生関東地区の集い

菊薫る10月29日昭和39年3月卒業以来47年ぶりの同期会を日本橋で開催、男性10名が集いました。ほとんどが卒業後は初の再会なので名前と顔がまったく一致しない人、面影が残っている人、当時とほとんど変わっていない人といろいろですが「お前は柔道部のSK」「あんた応援部のAだろう」「俺は野球部のSKだよ」と名乗り合い、会は始まった。

元気な再会を祝しての乾杯の後、それぞれの近況報告や定年後新たに挑戦している事等を報告しあった。農業(家庭菜園)を始めた人、市民大学に挑戦の人、奥さんが病気で主夫の人、社長、リトルリーグの事務長、趣味の絵画版画に没頭の者、シルバーセンターで奉仕する人といろいろですが、皆明るく、前向きに取り組んでいる様子が強く感じられた。口も好調なら酒も好調で、おいしい料理を肴に3時間超えの会も、来年の再開を約束して終宴となった。(十十木 記)



後列：小嶋 清水 宮澤(李) 小林 安財
前列：本間 酒井 中山 宮澤(利) 十十木

須商東京同窓会 2011年度登録会員 2011.11末現在

項	卒年	氏名	項	卒年	氏名	項	卒年	氏名	項	卒年	氏名	項	卒年	氏名	項	卒年	氏名
(終身会員)			(終身会員)			(終身会員)			(終身会員)			(年会員)					
1	S11	丸山 茂忠	63	S30	神田 實	125	S34	駒津 勝	187	S39	岩崎 幸夫	245	S39	西川 正昭			
2	S13	堀 哲	64	S30	小宮山 豊茂	126	S34	坂口 昭男	188	S39	久保田 光子	246	S40	岩井 和雄			
3	S15	小林 伸嘉	65	S30	清水 純夫	127	S34	竹林 宏	189	S39	小林 幸久	247	S40	西沢 弘文			
4	S16	黒岩 幸衛	66	S30	関野 定信	128	S34	土屋 まさ江	190	S39	清水 博	248	S40	森山 貞幸			
5	S17	北島 和夫	67	S30	竹内 好夫	129	S34	富澤 義良	191	S39	十木 哲夫	249	S41	勝山 久幸			
6	S17	黒岩 吉重	68	S30	竹腰 邦夫	130	S34	中島 勇一	192	S39	中島 徹雄	250	S41	黒岩 敬子			
7	S17	武藤 喜二	69	S30	中野 貴司	131	S34	西沢 和夫	193	S39	中山 勉	251	S41	小山 俊久			
8	S17	山岸 伍助	70	S30	中村 正夫	132	S34	堀内 正富	194	S39	本間 良則	252	S41	坪井 正身			
9	S18	小坂 重男	71	S30	堀内 正啓	133	S34	牧 茂夫	195	S39	宮沢 利二	253	S42	宮越 公雄			
10	S18	田中 茂利	72	S30	前島 光秋	134	S34	増田 辰郎	196	S39	米沢 正行	254	S43	神品 美子			
11	S20	岡田 貞幸	73	S30	宮崎 公雄	135	S34	山岸 要	197	S40	有賀 信子	255	S43	竹内 勝一			
12	S20	岡井 忠一	74	S30	村田 美世子	136	S34	吉池 和紀	198	S40	大峽 賀利	256	S43	手塚 良一			
13	S20	西川 正道	75	S30	山口 和夫	137	S35	市川 勝三	199	S40	小田 彰	257	S43	中島 貞子			
14	S22	平野 宗雄	76	S30	涌井 邦雄	138	S35	轟 忠三	200	S40	児島 稔	258	S44	稲 準義			
15	S25	青木 悟	77	S31	浅岡 良夫	139	S35	中島 確	201	S40	小林 直治	259	S44	中沢 邦芳			
16	S25	大久保 勲	78	S31	池田 明治	140	S35	中島 賢郎	202	S40	渋谷 一男	260	S44	山田 哲男			
17	S26	小林 武一	79	S31	井上 すす江	141	S35	藤沢 郁夫	203	S40	返町 敦雄	261	S46	畔上 健			
18	S26	小林 幸一	80	S31	江守 孝吉	142	S35	和気 岩雄	204	S40	滝沢 満由美	262	S47	荒城 三夫			
19	S26	外谷 幸治	81	S31	小澤 一雄	143	S36	小野 文夫	205	S40	檀原 憲治	263	S47	金井 年男			
20	S26	中村 裕治	82	S31	越 勝	144	S36	久保 寿夫	206	S40	中澤 功夫	264	S48	田牧 博			
21	S27	勝山 好次	83	S31	小林 良則	145	S36	河野 廣志	207	S40	中嶋 和男	265	S52	霜方 新一			
22	S27	桑原 宣	84	S31	小山 恭子	146	S36	竹原 忠志	208	S40	尾畑 良子	266	S55	宮崎 新一			
23	S27	須田 博明	85	S31	小山 文夫	147	S36	中澤 慎也	209	S40	三井 克保	267	S56	中村 幸夫			
24	S27	細貝 文夫	86	S31	坂口 邦一	148	S36	中島 洋	210	S41	江守 四郎	(年会員・未入金)					
25	S27	宮澤 義直	87	S31	角田 實	149	S36	中村 武徳	211	S41	片桐 正昭	268	S25	守江 正男			
26	S27	郷沢 晴資	88	S31	中沢 道生	150	S36	坂本 俊彦	212	S41	北沢 博	269	S26	飯川 裕弘			
27	S28	石田 勝衛	89	S31	中嶋 満	151	S36	藤沢 嵩	213	S41	清水 勲	270	S26	清水 英雄			
28	S28	市川 直	90	S31	浜野 成一	152	S36	本井 春二	214	S41	滝沢 則雄	271	S29	武田 健			
29	S28	伊東 嘉人	91	S31	足田 雅博	153	S36	渡辺 和雄	215	S41	水野 進	272	S29	原田 秀徳			
30	S28	今井 元朗	92	S31	平尾 雄市	154	S37	青木 則夫	216	S42	佐藤 今朝雄	273	S29	山田 是るえ			
31	S28	遠藤 益雄	93	S31	藤沢 三男	155	S37	天野 清志	(終身会員・住所不明者)			274	S30	飯田 明			
32	S28	木下 啓	94	S31	丸山 圭三	156	S37	黒岩 清四郎	217	S08	吉原 澄悦	275	S33	穂谷 三子			
33	S28	小山 純夫	95	S31	宮澤 文三	157	S37	坂本 俊彦	218	S28	清水 育郎	276	S37	高見沢 敏治			
34	S28	返町 賢治	96	S31	宮沢 正人	158	S37	佐藤 喜重	219	S30	玉井 清司	277	S37	安田 孝雄			
35	S28	滝澤 溥生	97	S31	宮澤 政人	159	S37	篠原 正勝	220	S30	野本 昭雄	278	S38	和田 博志			
36	S28	富沢 利夫	98	S31	森山 徳男	160	S37	篠原 守	221	S32	上原 明	279	S39	小嶋 武吉			
37	S28	富澤 久造	99	S31	横谷 亮	161	S37	高相 博澄	222	S37	松嶋 睦雄	280	S40	舟見 弘三			
38	S28	藤沢 孝行	100	S31	吉澤 利勝	162	S37	原 武夫	223	S16	青木 忠夫	281	S41	篠塚 啓喜			
39	S28	藤沢 宏行	101	S32	市川 貞雄	163	S37	宮澤 直	224	S23	平野 智久	282	S43	江村 和子			
40	S28	牧 栄蔵	102	S32	勝山 袈人	164	S38	阿部 桂子	225	S25	牛田 宏一	283	S44	大山 てい子			
41	S28	松澤 仲男	103	S32	神林 幸次郎	165	S38	尾田 豊文	226	S25	唐澤 敏雄	284	S44	桜井 公和			
42	S28	宮沢 登	104	S32	倉根 美代子	166	S38	川上 芳雄	227	S26	坂口 清実	285	S46	松倉 敏夫			
43	S28	宮沢 弘	105	S32	小森 富男	167	S38	北島 佐恵子	228	S27	小滝 公弘	286	S48	森山 正道			
44	S29	阿部 邦夫	106	S32	齊藤 裕三	168	S38	黒岩 孝一	229	S27	小林 正義	287	S56	須山 英行			
45	S29	上沢 輝男	107	S32	村石 光夫	169	S38	小泉 充男	230	S29	神頭 保義	(賛助会員)					
46	S29	草間 常子	108	S32	吉沢 市雄	170	S38	古岩 厚夫	231	S29	牧 弘三	288	S30	町田 邦子			
47	S29	小山 英二	109	S32	吉田 正光	171	S38	小林 義昭	232	S30	白井 敏	289	S32	佐藤 八郎			
48	S29	鈴木 澄夫	110	S33	石川 和行	172	S38	関 昌雄	233	S31	中村 拓治	290	S33	湯浅 慶幸			
49	S29	高木 修	111	S33	泉 英二	173	S38	土屋 眞五	234	S33	吉原 正宣	291	S36	臥電 36会			
50	S29	中村 芳子	112	S33	伊藤 好徳	174	S38	遠山 増郎	235	S34	熊瀬川 武久	292	S36	宮崎 春男			
51	S29	樋口 隆	113	S33	加藤 四郎	175	S38	西沢 捷二	236	S34	小坂 公男	293	S38	岡宮 忠和			
52	S29	兵藤 武司	114	S33	上總 英佐子	176	S38	根岸 嘉一郎	237	S34	越 保二朗	294	S38	佐々木 庸夫			
53	S30	荒井 鐘司	115	S33	小林 勤	177	S38	根岸 吉美	238	S34	田子 重雄	295	S38	佐藤 公靖			
54	S30	荒木 穰	116	S33	角田 英雄	178	S38	蜂谷 雅人	239	S35	田幸 義章	296	S38	中村 謙吉			
55	S30	市川 善弘	117	S33	豊田 武男	179	S38	牧 行政	240	S35	和智 ヤチ子	297	S38	山崎 博正			
56	S30	上野原 英雄	118	S33	広田 俊三	180	S38	村石 久二	241	S37	池田 晃	298	S40	井原 政男			
57	S30	大淵 恵子	119	S33	牧 袈装二	181	S38	盛田 登	242	S38	岩野 久可	299	S40	伊礼 みつ子			
58	S30	岡宮 経雄	120	S33	松澤 貞信	182	S38	矢島 公成	243	S38	小淵 重雄	300	S40	松本 由美子			
59	S30	落合 光雄	121	S33	柳澤 吉夫	183	S38	湯本 俊雄	244	S38	樽澤 輝男	301	S40	丸山 憲太郎			
60	S30	勝野 基吉	122	S33	山田 行徳	184	S38	割田 隆									
61	S30	上平 みよ	123	S34	加藤 金治	185	S39	安財 達志									
62	S30	河村 省三	124	S34	菊池 京子	186	S39	井浦 達郎									

同窓会 役員名簿

項	役職	卒年	氏名	項	役職	卒年	氏名
1	顧問	S31	坂口 邦一	10	事務局長	S39	中山 勉
2	顧問	S31	池田 明治	11	会計	S42	佐藤 今朝雄
3	顧問	S31	浅岡 良夫	12	会計監査	S32	齊藤 裕三
4	顧問	S38	村石 久二	13	事務局長代行	S37	高相 博澄
5	顧問	S40	小田 彰	14	事務局長代行	S40	小林 直治
6	代表	S38	蜂谷 雅人	15	幹事	S36	本井 春二
7	副代表	S33	泉 英二	16	幹事	S41	小山 俊久
8	副代表	S40	有賀 信子	17	幹事	S47	金井 年男
9	副代表	S43	中島 貞子	18	幹事	S52	霜方 新一

住所不明者名簿

住所不明者をご存知の方は事務局までお知らせ下さい。

項	会員	卒年	氏名
1	(終身)	S08	吉原 澄悦
2	(終身)	S28	清水 育郎
3	(終身)	S30	玉井 清司
4	(終身)	S30	野本 昭雄
5	(終身)	S32	上原 明
6	(終身)	S37	松嶋 睦雄

総会欠席者からの近況報告



黒岩 幸衛 (昭和十六年卒)

病氣療養中、故残念ながら欠席

青木 忠夫 (昭和十六年卒)

足腰が弱くなり、不自由しています。

北島 和夫 (昭和十七年卒)

体調が万全でないので欠席します。

山岸 伍助 (昭和十七年卒)

元気で週二日の勤務と散歩、ドライブ、一杯の晩酌を楽しんでおります。

小坂 重夫 (昭和十八年卒)

何時も御苦勞願ひ感謝しています。

田中 茂利 (昭和十八年卒)

都合により出席できません。ご盛会を祈ります。有賀さんの語り、お聞きしたかった!

平野 宗雄 (昭和二十二年卒)

ご苦勞さんです。八十二歳になります。皆様になしく。

大久保 勲 (昭和二十五年卒)

「成美会誌」を楽しみにしています。

外谷 幸治 (昭和二十六年卒)

体力がなくなり、動けなくなりつつあります。

坂口 清美 (昭和二十六年卒)

NPOで社会貢献。ご盛況をお祈り致します。

木下 啓 (昭和二十八年卒)

後期高齢者になりました。何とか暮しています。

滝澤 溥生 (昭和二十八年卒)

趣味を通して友人を増やし、楽しい日々を過ごしています。

上澤 輝男 (昭和二十九年卒)

家庭菜園やグランドゴルフを楽しんでいます。関東在住の高六回生は多数参加し、旅行・飲み会を楽しんでいます。

関野 定信 (昭和三十年卒)

後期高齢者の仲間になって益々元気にやっております。

宮崎 公雄 (昭和三十年卒)

小生、病のため出席できず残念です。

池田 明治 (昭和三十一年卒)

総会当日はかつての職場同僚との、ゴルフ大会でどうしても、欠席のやむ無きになりました。ゴメン!

越 勝 (昭和三十一年卒)

昨年より地区公民館でシルバーとして協力しています。公民館祭の準備のため、欠席させて頂きます。

中村 拓治 (昭和三十一年卒)

変わりない日々を過ごしています。皆様のご健勝をお祈りします。

村石 光夫 (昭和三十三年卒)

現職の業務遂行上、土・日曜日は都合が付きません。申し訳ありません。

小林 勤 (昭和三十三年卒)

日々ウォーキングを欠かさず、楽しんでいきます。今回は他用と重なり欠席。

駒津 勝 (昭和三十四年卒)

土日は自治会・老人クラブの行事等で忙しい日々を過ごしています。

中島 勇一 (昭和三十四年卒)

いつも御案内ありがとうございます。当日、都合悪く参加出来ません。

中島 確 (昭和三十五年卒)

社会参加のボランティア活動をしています。海外旅行を年一回は行っています。

和智ヤチ子 (昭和三十五年卒)

ボケ防止にフラダンスを習っています。

中村 武徳 (昭和三十六年卒)

二病息災!を受け入れ、乍ら地元同好会のボランティア活動をしております。

天野 清志 (昭和三十七年卒)

調停委員として活躍しております。

高見沢敏治 (昭和三十七年卒)

都合悪くなり参加出来ません。次回を楽しみにしています。第二の人生を頑張っています。

阿部 桂子 (昭和三十八年卒)

いつもお世話さまです。元気にしております。今回は法事と重なってしまいました。

北島佐恵子 (昭和三十八年卒)

元気に茶道を楽しんでおります。

関 昌雄 (昭和三十八年卒)

せつかくの同窓会ですが所用により出席出来ません。次回を楽しみにしています。

児島 稔 (昭和四十年卒)

震災以後、体調不良です。

檀原 憲治 (昭和四十年卒)

頭の働きを除けば、一応の健康を保っているつもりです。

三井 克保 (昭和四十年卒)

一〇年振りにテニスをしています。

西沢 弘文 (昭和四十年卒)

娘の結婚と重なり、どうしても都合が付きません!楽しみにしていたのに残念です。

滝沢 則雄 (昭和四十一年卒)

腰痛で困っています。

編集後記

三月十一日の東日本大震災、引き続いて起こった福島原発事故で、避難生活を強いられる方々に心からお見舞いを申し上げます。ともに、一日も早く元の生活に戻れますよう祈念いたします。又、この夏は天候不順の日々が多く、台風十二号、十五号による記録的な豪雨が災害に追い撃ちをかけた。

今回、総会出欠の回答欄に近況欄を新設しました。本誌に掲載しましたのでご覧ください。

総会での役員改選では四年間事務局長をされた小田彰さんが退任され、新たに中山勉が事務局長を務めることになりました。

公演では断家 清水勲さん(四一年卒)が「落語」で、有賀信子さん(四十年卒)が「語り」で盛り上げて頂きました。

本校と須坂園芸校の統合は本部同窓会の動向を注視しながら東京同窓会としては現行通り、活動していきます。

最後に新卒者の首都圏への就職者が減少するなか、会員の高齢化が進み、総会への出席が減少傾向にあります。来年の総会では皆様それぞれが同期生をお誘いして、多数の出席をお待ちします。

事務局長 中山 勉